
夏休み子ども体験講座

～パソコンで簡単なゲームを作ろう～

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 親子で日頃、体験できない事に挑戦し親子共有の思い出作りと、子どもたちに達成感と自信をもたせる。
- 期 間 平成27年7月29日(水)・30日(木) (計2回)
- 時 間 午前10時～正午(計4時間)
- 対象・定員 文字入力ができる小学3年～中学生(保護者同伴可) 12人
- 参加者 16人 参加延べ人数 34人
- 講師 シルバー人材センター 黒江 直行
- 事業内容

回	月 日	内 容
1	7月29日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラミングの意味を学ぶ。 ・Scratch(スクラッチ)※の基本動作を学ぶ。 ・猫のアニメに声や動きをつける。
2	7月30日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・サッカーゲームを、背景やゴール音を替えて作る。 ・ゲーム、キャラクターを選び自分の声を付ける。

※ マサチューセッツ工科大メディアラボが公開している無償プログラム

○ま と め

2日間続けてプログラミングの基礎を学んだ。親子での参加者も4組あり、子どもだけではなく大人もいっしょにプログラミングの方法を興味深く、楽しく学んでいた。

生徒用のパソコンはインターネットにつながっていないため、無償提供するプログラミング環境を講師と職員が講座前にダウンロードする作業に手間がかかった。昨年度と同講座は1回限りの講座であったため全員が同じゲームを作るにとどまったが、今回は各自のパソコンで自分の好きな背景やゲームのキャラクターを選び、自分の声で思い思いの台詞を言わせるなどの趣向があり大変内容の濃いものであった。受講者からは、もっと深く学びたいとの声がたくさん寄せられた。



子どもヒップホップダンス

〈大和田公民館〉

○開設の趣旨 体で自己表現することや、仲間と気持ちをあわせて表現することの楽しさを学ぶ。

○期 間 平成27年6月6日～7月17日（土6回、金1回）（計7回）

○時 間 午後1時30分～3時30分（土12時間）
午後6時～8時（金2時間）（計14時間）

○対象・定員 市内在住又は在学の小中学生40人

○参加者 47人 参加延べ人数 306人

○講師 スタジオパラダイス講師 木野村温子

○事業内容

回	月 日	内 容
1	6月 6日（土）	・約束事について・柔軟体操、ダンスの基本ステップ
2	6月13日（土）	・拍子の取り方、パート練習「I Wish For You」
3	6月20日（土）	・パート練習「I Wish For You」
4	6月27日（土）	・パート練習「I Wish For You」
5	7月 4日（土）	・全部を通して踊る（フォーメーションの位置決め）
6	7月11日（土）	・全員でフォーメーションを組んで踊る
7	7月17日（金）	・ユニフォームを着て発表に向けての総練習

○ま と め

今年、小学生47名でスタートし、EXILEの曲「I Wish For You」を小3までの班と、小4以上の2班に分けて振り付けを変えて練習をした。必ず家で練習をして参加することを約束し、できなかった場合は講座の30分前に来て自主的に練習することにした。ダンスが好きな子ども達が多く、保護者にも積極的に協力を求め、家庭練習用のビデオ撮影もきちんとしていたため、進捗が早く4回目で振り付けがほぼ完成した。途中で離脱する子もなく、第1回新座大江戸祭りでは、多くの観衆の前で全員がフォーメーションを組んで堂々とダンスを披露することができた。



書き初め練習会

<大和田公民館>

- 開設の趣旨 広々した場所で集中して書き初めの練習ができる機会を提供し美しい字を書こうとする意識をもたせる。
- 期 間 平成27年12月25日(金)・12月26日(土)(計2回)
- 時 間 午前10時～正午 (計4時間)
- 対象・定員 市内在住の小学生3年～中学3年生 各15名
- 参加者 1回目15人、2回目15人 参加延べ人数30人
- 講師 書道家・元小学校教諭 桜井イサ子
- 事業内容 冬休みの書き初めの課題を太筆や細筆の正しい筆運びなどを学び、学校提出用の作品を美しく仕上げる。

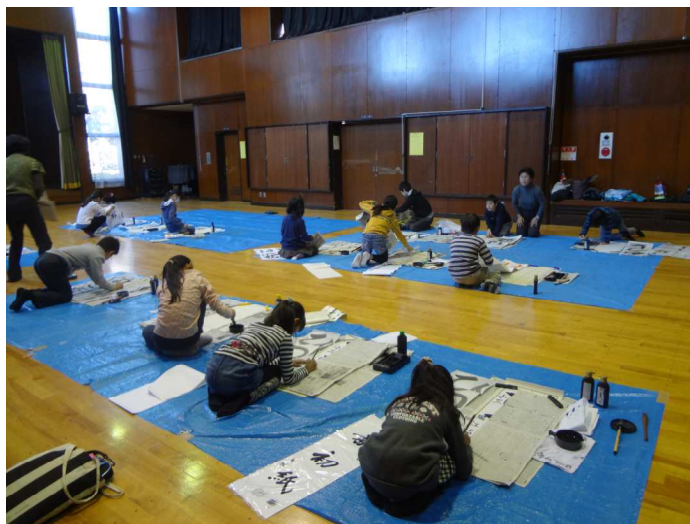
○ま と め

定員が1回につき15名で、2日間の開催としたが、今年度も応募者が殺到し、わずか30分程で定員を上回り、その後も申込の電話が後を絶たずキャンセル待ちがでるほど応募者が殺到した。

今までの反省を踏まえ、受講生の人数を15名に抑えたため、講師が個々に指導することができ、細筆の名前書きや苦手なところを繰り返し練習させていた。意欲的に練習して何度も書き直しをする受講生も多くいた。また小学3年生は書き初めが初めての体験であるため、集中力が持続できない子もいたが、講師が苦勞しながらも根気よく丁寧に教えていた。

他の児童も基本に立ち返って、墨の選び方や吸い取り紙の使い方、筆の運び方、書き上げた作品の保存の仕方等を学び、学年別に手本に沿っての文字の書き方、文字の配列、名前を書く位置等も指導を受けていた。ほとんどの児童が時間内で学校へ提出する作品を会場の全員書きあげることができた。スペースや時間の配分もちょうどよい人数であった。

作品も仕上り、児童や生徒にとって充実した講座であった。



子ども茶会講座

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 日本のお茶文化である茶道を体験する。
- 期 間 平成27年8月5日（水）
- 時 間 午前10時30分～11時30分（1時間）
午後13時30分～14時30分（1時間）
- 対象・定員 小・中学生 各15人
- 参加者 27人 参加延べ人数27人
- 事業内容

回	月 日	内 容	講 師
1	8月5日（水）午前	茶道の歴史、お茶の種類、 抹茶の飲み方・点て方	裏千家師範 大西 幸江
2	8月5日（水）午後	茶道の歴史、お茶の種類、 抹茶の飲み方・点て方	裏千家師範 大西 幸江

○ま と め

子ども達の夏休みの1つの体験にしてほしいと考え、今年度初めて開催した講座。夏休み中、ロビーにたくさんの子どもが来て、ゲーム等で遊んでいる様子を見かけることから、少しでも日本伝統文化にふれさせてあげたいとの思いから子ども茶会を実施した。子どもたちが初めて抹茶を飲む体験であるので、あまり緊張しないように会場を児童室として、テーブルといす席で行った。

講師の説明がわかりやすく、茶道の歴史やお茶の話、茶道具、和菓子のいただき方等を教えてもらった後で、全員で抹茶を味わった。また実際に一人一人が点茶を体験した。抹茶は苦いという感想もあったが、おいしかったという声もあった。日本文化に触れる機会は子どもにとってよい体験になったようだ。冬の親子茶道教室を楽しみにしているという声も聞かれた。



CO₂削減講座

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 二酸化炭素削減のためにゴーヤで緑のカーテンを作る方法を
知り、環境対策を学ぶ。
- 期 間 平成27年6月19日（金）
- 時 間 午前10時～正午（2時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・15人
- 参加者 19人 延べ人数19人
- 講師 環境まちづくり地域連絡会会長 櫻 博子
- 事業内容

本年度から公民館数館が共通して緑のカーテン講座を募集した。新座市が環境教育に力を注いでいることが強調できた講座になったと思われる。各館が共通して講座を開催できたことは「環境まちづくり地域連絡会」の力があつたからこそである。

本講座は二酸化炭素削減のために緑のカーテンを作ることが効果的な方法であることから始まり、なぜ緑のカーテンにはゴーヤが最適なのか、ゴーヤの葉の蒸散量が最も多いという科学的なデータを示しながら説明があつた。

ゴーヤ作りのポイントはとにかく土作りからといわれる。その土作りにふさわしい肥料の選び方やつるの巻き方、肥料の保存の仕方など細かいところまで説明があつた。（写真1）種まき・発芽・本葉が出てからの育て方、ちょうどよいネットの大きさや選び方を写真や実物を見せて大変わかりやすかつた。

公民館で5月から育てたゴーヤ（写真2）は、講座開催時はかなり成長していたので、実物を見せながら説明できた。受講生が熱心に話を聞き、その後ゴーヤの苗を持ち帰った。この夏はゴーヤが増え、CO₂削減の一助になることを期待したい。

写真1



写真2



環境講座

〈大和田公民館〉

○開設の趣旨 防災に対する意識を高め、普段からできる防災対策を考えた。また緊急の救急救命法を学び、緊急時に備える。

○期 間 平成27年6月25日・7月2日・7月9日・16日の木曜日（計4回）

○時 間 午前10時～正午（計8時間）

○対象・定員 市内在住又は在勤の方・40人

○参加者 30人 参加延べ人数69人

○事業内容

回	月 日	内 容	講 師
1	6月25日（木）	地震に強い建物をつくろう	埼玉県建築安全課職員 田邊 智子
2	7月 2日（木）	救急救命講習	新座消防署大和田分署職員
3	7月 9日（木）	防災マップ活用法	新座市市民安全課職員 梅山祐樹・小林誇太郎
4	7月16日（木）	地域力を生かす減災対策	消防科学センター理事 池上 三喜子

○ま と め

1回目の講座では、現行の建築基準法に適していれば、大きな地震でも建物の損害は少ないが、改正前の建物ではかなりの損害が出て、被害も大きくなることや、筋交いの有無によって建物の強度の違いがあることなど模型を使ってわかりやすく学んだ。2回目の救命講習では少人数に分かれてAEDを使っての蘇生法など実践的に学んだ。3回目は大和田地区の危険な場所をハザードマップを使って詳しく説明してもらった。4回目の「地域力を生かす減災対策」では、講師の説得力ある話に参加者全員が引き込まれた。少人数に分かれて、ゲーム感覚で災害時に必要と思われるものを考えて出し合った。この話し合いは大変充実したものになり受講生同士の連帯感も生まれた。災害に対して様々な用意や心構えが必要であることを学んだ講座となった。



ワンダフルライフセミナー

〈大和田公民館〉

○開設の趣旨 人生を輝かせるために料理や趣味、運動など新しいことにチャレンジしてもらう。

○期 間 平成27年5月27日～6月17日の水曜日（計4回）

○時 間 午前10時～正午（6月10日は午前9時～午後1時）
（計9時間）

○対象・定員 市内在住又は在勤の方・40人

○参加者 20人 参加延べ人数49人

○事業内容

回	月 日	内 容	講 師
1	5月27日（水）	人生100年時代のお金の話	ファイナンシャルプランナー 高伊 茂
2	6月 3日（水）	高齢期に向けた口腔ケア	新座市保健センター職員 恩田 恵
3	6月10日（水）	大和田宿をあるく	生涯学習スポーツ課職員 斯波 治
4	6月17日（水）	正しいウォーキング講座	新座市体育協会 小形洋子

○ま と め

1回目は、身近な年金の話、遺族年金の受け取り方、相続税について受講生の興味ある内容であった。また振り込め詐欺防止のDVDを見た後、受講生の感想を交えての話は今後も大変役立つ話であった。2回目は、唾液の働き、唾液を分泌させるためのマッサージの仕方、歯周病の怖さとその予防を歯の模型を使って説明を受けた。電動歯ブラシ、歯間ブラシの有効性等の質問も出て関心が高かった。3回目は、当日30度近くの気温の中、旧川越街道沿いの宿や譜光明寺、氷川神社等、歴史的建造物についての説明を受け、身近なところでも意外にも知らないことがあり勉強になった。4回目は、足をしっかり上げて腕を振っての歩き方や体幹を鍛える歩き方等、ウォーキングでの健康法を学ぶことができた。4回とも大変有意義な講座内容であり、受講生の意識の高さがうかがえた。



ハングル語初級講座

〈大和田公民館〉

○開設の趣旨 パッチムをマスターして単語数を増やす、旅行に役立つフレーズを覚える、声を出して実践的な会話を練習するなど、講座終了後に独学できるようにする。

○期 間 平成27年5月21日～6月25日までの毎週木曜日 (計5回)

○時 間 午後1時30分～3時30分 (計10時間)

○対象・定員 市内在住または在勤の方 20人

○参加者 14人 参加延べ人数 60人

○講師 ハングル語講師 池 慶順

○事業内容

回	月 日	内 容
1	5月21日(木)	・パッチムのある文字、単語の発音 ・激音、濃音の練習
2	5月28日(木)	・パッチムのある文字、単語の発音 ・激音、濃音の練習
3	6月11日(木)	・二重パッチムのある文字、単語の発音 ・韓国の伝承遊び(ユンノリ)を楽しむ
4	6月18日(木)	・二重パッチムのある文字、単語の発音 ・会話「～です。」「～ですか？」
5	6月25日(木)	・会話「～をします。」「～をしますか？」 ・韓国の流行歌ムジョコン(無条件)

○ま と め

熱心な受講生が多かったため、講座の進み具合が大変早かった。

講座終了後、テレビ、ラジオにより独学できるようになることを目標に講座を企画したところ、ほぼ達成できた。講座では、隣同士で会話の練習をしたり、韓国の伝承遊び「ユンノリ」を2班に分けて競い合ったりすることによって、打ち解けた雰囲気となり学習方法を尋ね合うなどの様子が見られた。講座終了後もハングル語学習を継続していきたいと話す受講生も多数いた。大和田公民館には、ハングル語の中級者(学習経験3～4年)のサークルがあるが、そちらに参加を希望する方もいた。

안녕하세요	アンニョンハセヨ	こんにちは
고마워	コマウオ	ありがとう
안녕히 계십시오	アンニョンヒケ シプシオ	さようなら

ハンゲル語入門講座

〈大和田公民館〉

○開設の趣旨 ハンゲル文字の書き方、読み方、発音など基礎から学ぶ。

○期 間 平成27年10月15日～11月12日の毎週木曜日
(計5回)

○時 間 午後1時30分～3時30分 (計10時間)

○対象・定員 市内在住又は在勤の方 20人

○参加者 11人 参加延べ人数 42人

○講師 ハンゲル語講師 池 慶順

○事業内容

回	月日	内容
1	10月15日(木)	・母音、文字の書き順、発音、単語 ・挨拶、自己紹介のしかた
2	10月22日(木)	・子音、文字の書き順、発音、単語 ・歌(アリラン)
3	10月29日(木)	・平音の文字の書き方、発音 ・激音の文字の書き方、発音
4	11月5日(木)	・二重母音(複合母音)の文字、発音 ・ユンノリ(伝承遊び)
5	11月12日(木)	・二重母音(複合母音)の文字、発音 ・手遊び(りんごみtainな私の顔)

○まとめ

都合により1週間ずれての開始となったが、支障なく進めることができた。

他館でもハンゲル語のサークルができたためか昨年度までは20人ほどの受講者がいたのだが、今回は応募者が例年の半数ほどであった。

ほとんどの受講生が未経験であったため、講座の進め方をゆるやかにしたため、濃音の学習ができずに終わってしまった。反面、人数が少なくゆっくりと丁寧な指導であったので、開始当初に難しく講座についていけないと漏らしていた受講生も最終回には、遅れずに発音ができるようになり来年度の受講にも興味を示していた。講座の回数を増やして欲しいとの意見が多く聞かれた。



日本文学講座 ～近代の歌謡を読む～

〈大和田公民館〉

- 解説の趣旨 戦後から昭和50年代の歌謡曲を通して、社会世相、歴史的
背景、日本人の心の変遷を知る。
- 期 間 平成27年6月6日～6月27日までの毎週土曜日 (計4回)
- 時 間 午前10時～正午 (計8時間)
- 対象・定員 市内在住または在勤の方・50人
- 参加者 35人 参加延べ人数 112人
- 講師 棚木 恵子
- 事業内容

回	月 日	内 容
1	6月 6日(土)	歌謡曲とは何か 戦後歌謡曲の特徴と社会世相
2	6月13日(土)	昭和30年代の歌謡曲 日本人の心にある「悲しみの美学」
3	6月20日(土)	昭和40年代の歌謡曲 社会構造の変革(高度成長期)
4	6月27日(土)	昭和40～50年代の歌謡曲 演歌(現実の悲哀)と、ポップス(もう少しで手の届く少しリッチでおしゃれな生活)

○ま と め

平成22年度から開始した「歌謡を読む」シリーズの講座も今回で最終回となった。百人一首から始まり、梁塵秘抄、閑吟集、山家鳥虫家、唱歌、童謡、歌謡曲と読み進んできたが、受講者数は毎回3～40人と多く、学習意欲も高く的確な質問が多数聞かれた。昨年度からは、テキストを読むだけでなく、CDで歌謡曲を聴きながらの講座であったため音楽を楽しむ要素も加わり、さらに楽しい講座となった。何気なく口ずさんでいた歌も、時代の社会世相をどのような形で反映しているのかを知った後に聴くと感慨深いものがあった。

有名な流行歌の歌詞が、遠い古今和歌集などの歌の影響を受けている講話や、低俗と思われがちな歌も古典の歌と深いかわりがあることなどの話は、日本の古典詩歌の和歌、歌謡を学ぶ講座の完結編にふさわしいものであった。

日本文学講座 ～万葉集の名歌を読む～

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 万葉集の中の名歌を通して、歴史的背景、古代人の思想、宇宙観などを学び、歌の意味を知る。
- 期 間 平成27年9月12日～10月3日までの毎週土曜日 (計4回)
- 時 間 午前10時～正午 (計8時間)
- 対象・定員 市内在住または在勤の方・50人
- 参加者 53人 参加延べ人数 160人
- 講師 棚木 恵子
- 事業内容

回	月 日	内 容
1	9月12日(土)	・万葉集とは何か、成立時期、作者について ・「秋山の黄葉あはれとうらぶれて・・・」
2	9月19日(土)	・古代人の「死生観」とは ・別れをテーマとした歌
3	9月26日(土)	・現代にもつながる「雪月花」への感情 ・東歌について
4	10月3日(土)	・古代人の考える神の世界 ・万葉思想の初期から家持時代(最後)の変遷

○ま と め

万葉集の中から名歌と言われている代表的な歌を講師が103首選び、あいうえお順に載せたテキストを使って、各回のテーマに沿った歌について学んでいった。単に歌の意味を訳してだけでなく、古代人の死生観や自然に対する概念、歴史的背景などを学びながら、各々の歌を鑑賞していった。

当初、講座の定員を50名と多めに設定していたが、数日で満員となった。

また、秋の行事や行楽時期であったのにもかかわらず、毎回、多数の受講者があり大変熱心に聴講していた。しかし、4回の講座ではあまりにも短くテキストの3分の1も読み進めなかったため、この講座の継続を要望する受講者の声が多数聞かれた。

スマートフォン・タブレット講座

〈大和田公民館〉

○開設の趣旨 スマートフォンやタブレットを持っている方を対象に、より便利に活用するためのアプリを紹介し使い方を学ぶ。

○期 間 平成27年8月31日・9月7日の月曜日（計2回）

○時 間 午前10時～正午（計4時間）

○対象・定員 市内在住又は在勤の方 15人

○参加者 15人 参加延べ人数 28人

○事業内容

回	月 日	内 容	講 師
1	8月31日（月）	・スマートフォン・タブレットの基本操作・機能など ・使用料の内訳 ・グーグルマップで海外旅行疑似体験	有限会社イアス 代表取締役 遠藤 晶 講 師 遠藤幸子
2	9月 7日（月）	・便利なアプリの使い方（LINEの使い方） ・国政調査入力方法	

○まとめ

昨年度から始めたスマートフォン・タブレット講座であるが、本年もすぐに定員に達し、受講率も大変高かった。高齢女性の受講者が多く、操作方法を積極的に質問していた。また、タブレットとスマートフォンはほぼ同数であった。基本操作や特性の説明の後、通信費について割安料金と大手通信会社の料金の内訳の違いや、月々の通信費を抑えるコツなどについても講義してもらった。また、受講生からの質問によりスマートフォンによる国勢調査回答方法についても、実際に国政調査のホームページを各自で開いて指導を受けた。いずれも受講生にとって大変関心の高い内容であった。また、LINEの実践例や安全な使い方の講義の後、LINEアプリをインストールし実際に友人に送信するなどして使い方を確認する事もした。



パソコン講座

～簡単な写真修正加工法を学ぼう～

〈大和田公民館〉

- 解説の趣旨 自分のパソコンを使って、デジタル写真の修正加工方法をび、
葉書やチラシに貼りつけられるようになる。
- 期 間 平成28年1月21日（木）・22日（金） （計2回）
- 時 間 午前10時～正午（計4時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤で、パソコンを持参できる方 15人
- 参加者 11人 参加延べ人数 20人
- 講師 シルバー人材センター 黒江 直行
- 事業内容

回	月 日	内 容
1	1月21日（木）	写真修正の基本作業 （トリミング、明るさ調整、シャープ化、ぼかし、 着色、スタンプ機能等）
2	1月22日（金）	写真の修正加工の応用編 ・背景写真に文字の書込みをする方法 ・写真の合成方法

○ま と め

パソコン持参の講座であったため天候が心配であったが、出席率はよかった。大半の講座は女性が大多数を占めるが、今回は男性の参加者が多く、年齢層も30代から70代と幅広かった。無料の画像編集ソフト「GIMP2」を使っ
ての講座であったが、インターネットに接続できないため、事前に講師が画像
編集ソフト「GIMP2」と、数種の写真サンプルを、受講生分のCDRに記
録して対応した。普段、使用している自分のパ
ソコンを更に活用するための講座ということ
で、従来のパソコン講座より学ぶ意欲が非常に
高く、難しい操作を投げ出すことなく真剣に取り
組んでいた。講座終了後、2人の受講生は講
師の指導しているパソコンサークルに参加し
てパソコン操作を学ぶこととなった。



そば打ち体験講座

〈大和田公民館〉

○開設の趣旨 日本古来の伝統食であるそばについて、栄養素やそば粉の生産現状や打ち方を学ぶ。

○期 間 平成27年12月18日(金)

○時 間 午前10時～午後2時 (4時間)

○対象・定員 市内在住又は在勤の方 20人

○参加者 20人 参加延べ人数20人

○材料費 500円

○事業内容

回	月 日	内 容	講 師
1	12月18日(金)	そば打ちのデモンストレーション、実習、試食	さいたま蕎麦打ち倶楽部 講師 田中浩三

○ま と め

毎年恒例のこの講座は大変人気が高く好評である。楽しみにしている参加者も多く、すぐに定員いっぱいになった。講師は「さいたま蕎麦打ち倶楽部」の方(10人)で、受講生は4人1組となり5班に分かれ、個別指導に近い形での丁寧な指導を受けた。

はじめにそば打ちのデモンストレーションを見て、各班に分かれそば打ちを開始した。一人一人が蕎麦粉に水を入れて捏ねる、延ばす、切るの行程をすべて体験できるようにプログラムが組まれていた。講師陣の綿密な指導の手順により、班によって時間差ができないように進行状況を確認しながら進められたため、全班がほぼ同じペースでそば打ちができた。

試食の際には、自分で打ったそばと講師のそばとを食べ比べ、麺の太さや歯ごたえや舌触りの違いがわかった。講師の蕎麦は格別においしいと声があった。その後参加者同士で感想や話し合いが行なわれ、大変好評に終了することができた。すぐに来年度もまたこの講座を受講したいという申し出があった。



ふれあいタイム企画準備会

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 平成27年11月に開催するふれあいタイムの企画をする。
- 期 間 平成27年7月31日（金）
- 時 間 午前10時～11時（1時間）
- 対象・定員 市内在住・在勤の方6人
- 参加者 8人 参加延べ人数8人
- 事業内容 講座の日程調整と内容の検討をする。
- ま と め

企画準備会は2回計画していたが、台風のため1日目は中止し、7月31日の企画準備会一度で話し合いを行った。準備会の中では自由な意見交換がされ、3回の講座が決定した。

実施内容

- 11月7日 すいとん作り
- 11月13日 立教大学校内散策と昼食
- 11月20日 ラフターヨガ・反省会

すいとん作りは毎年好評で、参加者もすいとん作りに加わりたい、立教大学校内の散策に当たっては学生ボランティアサークルに協力を求めたいという意見が出された。なお、万一雨の場合は、体育室でポチャーというゲームをすることにした。3回目はラフターヨガで気持ちをほぐした後に反省会をして来年度の希望も聞くこととした。

ゲームの準備やチラシ作りなどの役割分担も決まり、1回のみ話し合いではあったが効率よくスムーズに計画が立てられた。

人権研修

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 公民館利用者団体の代表者を対象に人権研修を行う。
一人ひとりが地域社会を担う一員であることを自覚し、助け合い、支え合いについて考え「人とのつながり」を自ら断っていないか、日頃の自分自身の言動を振り返る機会を学ぶ。
- 期 間 平成27年6月13日(土)
- 時 間 午後14時～14時40分(40分)
- 対象・定員 公民館利用者団体の代表者の方 43人
- 参加者 43人 延べ人数 43人
- 事業内容 人権学習ビデオ「ヒーロー」を鑑賞し、身近な人権について考える。

○ま と め

人権問題を身近なこととして考えてもらう。

多くの方が集まる公民館利用者懇談会後に人権学習DVDを上映して、人権問題について改めて考えてもらう機会を設けた。

近年、社会から孤立している人が増えてきており、孤独死など大きな社会問題となっている。家族や地域、職場でのつながり、いわゆる血縁や地縁、社会との希薄化による問題である。こうした「無縁社会」と呼ばれる社会情勢に対して、何ができるか問題提起している内容のDVDであった。

(内容… 主人公は地域にまったく関心のない、働き盛りのサラリーマンである。地域の防災訓練に参加したことから、地域の高齢者や、父子家庭の児童とかかわるようになり、地域に関心を持つことになる。はじめは希薄であった地域との関係であったが、少しずつ気持ちに変化が表れる。そして自ら主体的に行動し、高齢者や孤立している父子家庭の児童とかかわりを持つようになり、傍観者だった主人公の意識が変わっていく。そうした体験の中で、自分の家族との絆も深めて行く。このように主体的に行動することで、新たな地域のつながりを結んでいく大切さを実感してもらうためのドラマである。)



男の料理講座

〈大和田公民館〉

○開設の趣旨 料理初心者の男性を対象に家族に食べて喜ばれる料理を作って食べてもらう楽しさを学ぶ。

○期 間 平成27年5月22日(金)・29日(金) (計2回)

○時 間 午前10時～午後1時(計6時間)

○対象・定員 市内在住又は在勤の男性・12人

○参加者 15人 参加延べ人数27人

○材料費 600円(各日程)

○事業内容

回	月 日	内 容	講 師
1	5月22日(金)	天津飯・酢豚などの中華家庭料理	ままごとキッチン代表 講師 前田純子
2	5月29日(金)	韓国海苔巻きなどの韓国料理	ままごとキッチン代表 講師 前田純子

○ま と め

昨年の反省を生かし材料を切る作業を多く取り入れ、包丁を多用するメニューとした。1回目は肉を油で揚げないで作る酢豚や半熟卵をのせる天津飯を作った。初めて顔を合わせた受講者たちであったが、お互いに協力し合って手早くできた。受講生の負担を減らすように、講師が調味料を事前に計って各テーブルに配るという配慮のおかげで大変スムーズに調理が進んだ。一人ひとりが半熟卵焼きを作って、餡をのせる天津飯は手軽で豪華に見えた。また油で揚げない酢豚料理は家でも作りやすいと好評であった。

2回目は韓国風海苔巻き、チャプチェと水ようかんの3品を作った。韓国風海苔巻きを作る時には海苔巻きにラップでごま油をつけると韓国風海苔になり、おいしい韓国風海苔巻きになった。また、チャプチェはダンメン(韓国風春雨)等韓国の材料を使って炒めたおかずで、珍しい材料との出会いも新鮮だった。受講生もおいしいと好評で調理に自信をつけた様子だった。



ママのためのヒップホップダンス

〈大和田公民館〉

○開設の趣旨 子育て中の母親を対象にヒップホップダンスを学び、子育てのストレス発散と、仲間作りの場とする。

○期 間 平成27年11月12日～12月10日までの毎週木曜日
(計5回)

○時 間 午前10時～正午 (計10時間)

○対象・定員 市内在住・在勤の方20人

○参加者 15人 参加延べ人数66人

○講師 スタジオパラダイス・インストラクター 木野村温子

○保育 12人 保育延べ人数34人

○事業内容

回	月 日	内 容
1	11月12日(木)	ストレッチ、振り付け
2	11月19日(木)	ストレッチ、振り付け
3	11月26日(木)	ストレッチ、振り付け
4	12月 3日(木)	ストレッチ、構成
5	12月10日(木)	ストレッチ、踊り込み

○ま と め

毎年人気のある講座で、すぐに定員に達した。1日目はテンポが速くてダンスを覚えられないという声があったが、だんだんとスピードに慣れ、自然に体が動くようになった。毎回当日習ったダンスを受講生自身が動画で撮影し、家で復習したのですぐに上達していった。講師からの「体を動かすことが楽しい、汗をかくことが気持ちよい」という言葉に受講生も負担を感じないで楽しく続けられたとの声が寄せられた。保育サポーターもベテランの方だったので安心して子どもを預けられたと母親から感謝の声が多かった。受講生8人の有志が大和田ハッピークリスマスでヒップホップダンスチームの一員としてダンスを披露し、達成感も得られた。



浴衣着付け講座

〈大和田公民館〉

○開設の趣旨 初心者がきものに興味を持ち、ゆかたが一人で着られるようになることを目標に、半幅帯を一人で数種類結べるよう着付けの基本を学ぶ。

○期 間 平成27年7月7日・8日の火・水曜日 (計2回)

○時 間 午前10時～正午(4時間)

○対象・定員 市内在住又は在勤の女性 15人

○参加者 12人 参加延べ人数 24人

○講師 着物インストラクター 津田 晶子 他2人

○事業内容

回	月 日	内 容
1	7月7日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・夏きもの、夏帯、ゆかたを見て知る ・肌着、ゆかた着付け、帯結びの段取りを覚える ・文庫結びが一人でできるように繰り返し練習する ・きもののたたみ方を覚える
2	7月8日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・美しく着るためのコツを学ぶ ・変わり結びを学ぶ ・きもの基本的な決まりごとを学ぶ

○ま と め

昨年までは、1週間あけての2回講座であったが、今年度は2日続けての講座とした。今回のように続けての講座のほうが記憶がとぎれないでできるためか、以前より混乱する受講生が少なかった。そのため、2日目の半幅帯を使った変わり結びも次々に練習することができた。たった2日間ではあったが、着物のたたみ方などの基本から、体形の補正などきれいに着こなすためのアドバイスなど充実した内容であった。

アンケートでは、ゆかただけではなくあわせ着物の講座を設けてほしい、着付けサークルを立ち上げたいとの意見もあった。



女性コーラス講座

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 簡単なポップスをリズムに乗って楽しく歌う。
- 期 間 平成27年9月9日～10月7日までの毎週水曜日 (計4回)
- 時 間 午前10時～正午 (計8時間)
- 対象・定員 市内在住または在勤の方 15人
- 参加者 15人 参加延べ人数 47人
- 保 育 2人 保育延べ人数 8人
- 講 師 今中 真琴(声楽)・古澤晶子(ピアノ伴奏)
- 事業内容

回	月 日	内 容
1	9月 9日(水)	・正しい発声法、腹式呼吸法を学ぶ ・「輪になって踊ろう」、「SING」を皆でいっしょに歌う
2	9月16日(水)	・3パートに分かれて練習をする ・「輪になって踊ろう」を振付けながら歌う ・「SING」を英語で歌う
3	9月30日(水)	・ピアノ伴奏に合わせて歌う ・「AMAZING GRACE」をパート別に練習する ・コーラスの楽しさを知る
4	10月7日(水)	・ピアノ伴奏に合わせて3曲を歌う ・情感を入れて歌う ・4グループに分かれて成果発表する

○ま と め

大和田公民館ではここ数年声楽の講座がなかったので、今回コーラス講座を企画した。4回で仕上げなければならなかったため、女性に限定し曲も幅の広い年齢層に知られていて歌い易いポップスを選んだ。受講生は20歳代から70歳代とかなり幅広く、高齢者にとっては英語の歌詞を覚えるのに多少の苦労はあったようだが、それ以上に音楽の魅力でがんばることができ、回を重ねるごとに仲間意識ができて、音を合わせることの楽しさを実感していた。できればもう1、2回期間が欲しかった。当初、恥ずかしそうに歌っていたのにもかかわらず多くの受講生が発表の場が欲しかったとの意見であったのには驚かされた。クリスマス会に成果発表ができなかったのが残念だった。



かがやき塾

〈大和田公民館〉

○開設の趣旨 高齢期を充実したものにするために、健康、生きがい、趣味について学び、仲間作りの場所を提供する。

○期 間 平成27年10月14日～11月4日の毎週水曜日
(計4回)

○時 間 午前10時～正午(28日は午前9時～午後4時)
(計13時間)

○対象・定員 市内在住又は在勤の方・40人

○参加者 42人 参加延べ人数136人

○参加費 2300円(昼食代・高速料金代・ボランティアガイド代)

○事業内容

回	月 日	内 容	講 師
1	10月14日(水)	ロールプレイで防ぐ振り込め詐欺	新座警察生活安全課 田島刑事
2	10月21日(水)	伊香保温泉散策	伊香保温泉ガイド「遊友」 富永代表 他2名
3	10月28日(水)	シニア・骨カルシウムセミナー	雪印メグミル関東販売本部 宮後泰子
4	11月 4日(水)	生涯学習インストラクター	小川 正久

○ま と め

1回目は被害が続く振り込め詐欺の対処方法についてロールプレイング方式で具体的に学んだ。警察の方や受講生の迫真の演技を見ていて、たまされやすい心理状態を学ぶことができた。2回目の伊香保温泉散策では町のボランティアガイドに石段の街を案内してもらった。何度も訪れていたが新たに伊香保温泉の魅力を発見できたと受講生からの感想があった。3回目のシニア・骨・カルシウムセミナーでは、牛乳やヨーグルトに含まれる栄養がいかに大切かを学んだ。4回目の手品教室では受講生は真剣な眼差しで講義に聞き入っていた。身近なトランプやカードを使った手品は家族を喜ばすこととともに認知症の予防にもなると受講生に好評であった。講師のお人柄もあり笑いに包まれた講座であった。今回の講座内容はバランスよく充実していると好評であった。



わくわくキッズファミリー講座

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 核家族の時代、子育てについての学習を通して親同士の親睦を図る。
- 期間 平成27年9月10日～10月1日までの木曜日（計4回）
- 時間 午前10時～正午（計8時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方の2歳から就学前のお子さんと母親20組
- 参加者 13組 参加延べ人数 36組
- 材料費 500円（調理材料費）
- 保育 4人 保育延べ人数 29人
- 事業内容

回	月 日	内 容	講 師
1	9月10日（木）	親子リトミックサークル	親子リトミックサークル連絡会代表 中村真由美
2	9月17日（木）	子どもと一緒に楽しむおもちゃ作り	ふありーてえる 理事長石井 英子
3	9月24日（木）	子どもが泣いたときの対処法	ふありーてえる 理事長石井 英子
4	10月1日（木）	栄養満点の園児弁当	管理栄養士 鈴木 香

○ま と め

本年度は近隣の幼稚園の保育体験教室と日程が重なったため、参加者を集めるのに大変苦労した。幼児の中には2歳児に満たない児童も含まれたために保育サポーターを4名体制にして準備したが、1回目は台風の影響で参加者が少なく残念であった。受講者からリトミックの回数を増やしてほしいとの声があった。2回目は身近な材料でおもちゃを作り、受講生が感嘆の声を上げていた。3回目の子どもが泣いたときの対処法では、子どもとのコミュニケーションの取り方を学んだ。忙しい時に子どもが声をかけてきた時の対応の仕方をロールプレイング体験した。現保育園の園長の話には説得力があり、いろいろ相談していた。4回目の栄養満点の園児弁当の作り方は弁当の選び方、作るポイント等わかりやすく説明があった。充実した講座であった。



ふれあいタイム

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 障がいのある人もない人も、一人での外出が不安な人も、地域の方と気軽に交流の場を通して、お互いに理解を深める。
- 期 間 平成27年11月7日(土)・13日(金)・20日(金)
(計3回)
- 時 間 11月7日・13日午前10時～午後1時(計6時間)
11月20日午前10時～正午(計2時間)
- 対象・定員 市内在住・在勤の方 30人
- 参加者 34人 参加延べ人数85人
- 材料費 100円(調理材料費)
- 事業内容

回	月 日	内 容	講 師
1	11月7日(土)	すいとん作り	大和田1・2丁目町内会
2	11月13日(金)	立教大学散策・昼食	大和田1・2丁目町内会
3	11月20日(金)	ラフターヨガ・反省会	ラフターヨガ ティーチャー 乙部澄枝

○まとめ

1回目のすいとん作りは、参加者全員が協力して野菜を切ったり小麦粉を練って鍋に入れたり調理しながら交流ができた。30人分超のすいとん作りであったが、大和田一・二丁目町内会の方々に前日から準備して頂きスムーズに調理できた。また、障がいがある方でも包丁を使いやすいようにと工夫したので調理が短時間でできた。昨年度よりも多くの作業をいっしょにできた。2回目の立教大学散策は、公民館から車いすの方や視覚障害の方などが参加して、安全に配慮しながら大学キャンパスまで歩いた。その際大学のボランティアサークルに協力を頂き、キャンパス内の案内をしてもらい、その後いっしょに昼食もとり交流できた。しかし大学校内での活動が一部の学生に限られたので、もう少し活動に工夫を加えた方がよいという反省点もあった。3回目のラフターヨガは、大きな声で笑い、体をほぐして、和やかに参加者全員が自然にふれあう様子が見られた。



大和田ハッピーX'mas

＜大和田公民館＞

- 開設の趣旨 年に一度のお楽しみ会として、親子で楽しむ機会を持つ。
- 期 間 平成27年12月12日(土)
- 時 間 午後1時30分～2時40分(計1時間10分)
- 対象・定員 市内在住の幼児及び小学生と保護者 120人
- 参加者 234人 (参加延べ人数234人)
- 講師 大和田小学校金管バンドCHERRY BLOSSOM
スタジオパラダイス・館講座発表(ヒップホップダンス)
大和田朗読の会
- 事業内容 ヒップホップダンスや金管バンドの演奏、朗読の会のお話を
家族で楽しんだり、サンタクロースからプレゼントをもらっ
たりして楽しい思い出を作る。

○ま と め

子どもから大人まで大勢の方が参加し大盛況であった。オープニングは大和田小学校の金管バンドの演奏で華やかにスタートした。館長がサンタクロースに扮して屋上から登場という演出に驚きの声が上がった。小さい子どもたちが喜んでいて。パフォーマンス部門では、公民館講座「ママのためのヒップホップダンス」の受講生8名が成果発表として参加しダンスを披露した。とても5回講座で覚えたダンスとは思えないほどの完成度の高いものであった。スタジオパラダイスのみなさんのスピード感あふれるダンスは観客の目を釘付けにし、かわいい衣装でクリスマスの雰囲気盛りあげてくれた。朗読会のお話は大きなスクリーンに絵を映し出しながら「裸の王様」の読み聞かせを行った。美しい絵に見とれながら子どもから大人までも話に聞き入りしっとりとした終盤になった。毎年楽しみにしている方も多くハッピークリスマスとなった。

最後に子どもたちはサンタクロースからプレゼントを受取り、ニコニコ笑顔で終わったクリスマス会となった。大泉学園の特別支援学校の生徒さんと付き添いの方も来場し楽しんでくれた。年末の恒例イベントであり市民の方の楽しめる講座となった。



親子茶道講座

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 親子で茶道を体験することにより、日本文化を知る。
- 期 間 平成28年1月6日（水）
- 時 間 午前10時～正午（2時間）
- 対象・定員 小学生とその保護者 各20人
- 参加者 17人 参加延べ人数17人
- 参加費 親子で500円（子ども一人追加200円）
- 事業内容

回	月 日	内 容	講 師
1	1月6日（水）	茶道の歴史、お茶の種類、 抹茶の飲み方・点て方	裏千家師範 大西 幸江

○ま と め

本講座は本館でも初めての講座であったが、関心も高く8組の親子の申し込みがあった。年長の幼児から小学4年生までの児童がおいしそうに抹茶体験をした。

講師の説明がわかりやすく、茶道の歴史やお茶の話、茶道具や作法等を丁寧に教えてくれた。今回は和室で行なうことができたので、掛軸や香炉、お釜の説明があり、本格的なお茶の作法を学ぶことができた。和菓子や抹茶のいただき方やいろいろな作法を学び、抹茶を味わった。その後は実際に子どもたち一人ひとりがお茶を点てて保護者に振る舞った。親子でほほえましいひとときを過ごすことができた。どうしても敷居が高くなりがちな茶道であるが、講師のお人柄もあってほどよい緊張感の中で進められ、楽しい学びの場になった。参加者の中には、毎月やってほしいとか、親子で学べる場がよい、伝統文化に触れることのできる機会は必要だという感想があった。夏の子ども茶会に参加した方もいて潜在的なニーズがあると思われる。

お茶会は楽しいばかりでなく作法も学ぶことができて有意義であったという参加者の感想が多かった。



大和田小さな家おはなし会

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 ボランティアとの協力により子ども達に読書に親しむ機会を提供する。
- 期 間 平成27年5月1日～28年3月18日の第1及び第3金曜日。ただし8月は第1、1月は第3金曜日（計20回）
- 時 間 午後3時30分～4時（計11時間）
- 対象・定員 市内在住の乳幼児又は小学生と保護者 20人
- 参加者 51人 参加延べ人数 123人
- 講師 ボランティアサークル「大和田小さな家」
- 事業内容

月日	内容	
第1・第3金曜日 (8月は第1金曜日) (1月は第3金曜日)	お話会	<ul style="list-style-type: none"> ・手遊び ・絵本の読み聞かせ ・紙芝居
7月3日(金)	七夕会	<ul style="list-style-type: none"> ・手遊び(7この家族) ・絵話(ぴっちゃんぽっちゃん) ・絵本(お月さまってどんなあじ)ほか ・軍手人形(カラスの親子) ・七夕のうた
12月18日(金)	クリスマス会	<ul style="list-style-type: none"> ・手遊び(とんとんサンタさん) ・絵本(おふとんかけたら)ほか ・紙芝居(コッコおばさんのうれしいおでんわ) ・歌(きよしこの夜)

○ま と め

以前は、就学時前の子どもとその保護者が大半を占めていたが、公民館を訪れる小学生に声かけをすることによって、徐々にではあるが小学生の参加が増えつつある。今後は、読み聞かせの楽しさを知り自発的に参加する子どもが増えるよう、継続的に参加を促していきたい。夏冬の特別イベント(七夕会、クリスマス会)では、サークル会員の手作りプレゼントや、盛り沢山の内容で親子共々楽しんでいた。



クリスマス会の様子(写真)